

Dalia さん木曜例会 (2011/05/12)

本日のゲストはお馴染み Dalia さん、3 度目のご登場です。過去 2 回でイスラエル、イランに関しての生々しい内容を話してくれました。2500 年前のペルシャが、今のアメリカ合衆国のように多民族国家であり、現代のグローバル社会のお手本になる懐の深さ、等々圧巻でしたね。そして今回はなんと空飛ぶ絨毯でお母さんと一緒にお祖母さんとおじさん達の住む New York へ、さらには従兄弟たちの住む Los Angeles への旅紀行です。タイトルもずばり A Magic Carpet Ride to The Big Apple & The Big Orange、膨大なスライドショーの始まり始まり！！



事前に気になる点がありました。今アメリカとイランの関係は結構厳しい。

でも Iranian-American は 100~150 万人もいて、揃って高学歴、医師、教授、企業経営者その他アメリカ社会の要職を占めている、当然高所得層ばかり。これってどうして、いつからそうなったのだろう？イスラム信者も相当いるはずなのに？WASP 社会は本質的には排他的ではないか。そんな中で今後何の問題もないのかしら？

このような疑問点にも Dalia さんのスピーチの中で“なるほど”とうなずける点もありました。

では早速お祖母さんの住む The BIG APPLE に魔法の絨毯で一つ飛びしましょう。85 歳で Queens にお一人で悠々自適の毎日、25 年間日本車すばるを愛用し、毎週アメリカの野菜のパラダイスのような強大なスーパーマーケットに運転していく。スーパーの商品陳列棚にはテイクアウトのお惣菜も野菜果物に加わって数多く見られ、そのなかで寿司も売られている。

10 年振りに祖母と一緒にアメリカでいちばん人気あるレストランへ出かけた。それはイスラエル人が経営しているアメリカの寿司レストラン。ちなみにイスラエルでも寿司はいちばん人気のあるレストランになってきている。アメリカの寿司はカラフルで創作的でスタイリッシュです。たとえば、マンゴと刺身、ピーナツクランチに天かすがのったりします。



お祖母さんの家でのパーティ光景では、ペルシャの手料理、薔薇のお菓子の数々、水タバコ、古代から使ってきた炭で温める銅の魔法瓶などが次々と登場する。もちろん音楽演奏、ダンスも。

ペルシャの家庭では週に数回ほどパーティが行われます。招待しては、お返しに招待し、その繰り返しです。数々のメニューが登場します。

米粉で焼いたクッキーにケシの実 添え、サフランと薔薇水が入ったいろいろ風プディング、

挽肉、団子、ハーブをおにぎりの形にしてスープで蒸したもの。食後には、小さなティーグラスに入った薔薇の香りがする紅茶。角砂糖を口に含んで飲む。ジャムを口に含み、紅茶を飲むロシアンティーに似ています。きゅうりのスティックも果物のボールに添えられていました。

Queens にはアジア人が 20% 近く住み、(U.S 平均 3.6%、N.Y.City9.8%) さらには人口の約 50% がアメリカ以外で生まれた人たちです。ユダヤ教信者も 11% (U.S 平均 2% N.Y.City13%) ですから別名 Jew York と呼ばれるのも無理ありません。

次は Persian Carpet です。マンハッタン島にある R ANAVIAN & SONS 4E 30th St. New York にお邪魔しましょう。お祖父さんの後を次いで二人の伯父さん達が経営している店です。Times Square から約 1km 南にあります。沢山のペルシャ絨毯が所狭しとばかりに保管されていますがさぞかし値が張るものばかりなのでしょうね。

その起源は 2500 年前にさかのぼります。

Wikipedia による情報

The Pazyryk Carpet, the oldest known surviving carpet in the world, 5th century BC.

In a unique archaeological excavation in 1949, the exceptional [Pazyryk](#) carpet was discovered among the ices of Pazyryk Valley, in [Altai Mountains](#) in [Siberia](#). The carpet was found in the grave of a [Scythian](#) prince. Radiocarbon testing indicated that the Pazyryk carpet was woven in the 5th century BC. This carpet is 283 by 200 cm and has 36 symmetrical knots per cm².



以来産地からのペルシャ王への献上品ともなりました。砂漠の民ベドウインの生活必需品が今や世界中に普及している、その歴史、技術の伝承、図柄模様が込められた民族の精神等々悠久のロマンを感じます。産地では 5 歳から製法を教え始められ、図柄、製法は全て頭の中にあるそうです。本物は全て手作業、一日 3cm しか織れません。川で水洗いし天日で乾燥、使い込むほど強度が増し、味わい深くなります。17 世紀にはヨーロッパ各国から大量のオーダーが入り生産ラインも拡充、現在でもイランでは石油以外の輸出品目の一翼を担っています。



素材、織機、機織道具などの説明がありさらに基本的なオリジナルデザインを紹介もありました。自然からの題材が多くそれをアレンジしたもの、木、ペーズリー、カリグラフィ、モスク、ランプ、万華鏡柄、アラベスク、唐草模様、ジオメタリック、八角形、スパイラル等々多様です。これだけの長い歴史、多様な部族の文化伝統に基付いているものですから無限の広がりなのでしょう。祇園祭の薙刀鉾、南観音山にも飾られています。

写真：昭和 57 年に「長刀鉾」(なぎなた) と「放下鉾」(ほうかぼこ)

の鉾飾りの取替え時期に、アナビアン・コレクションからペルシャ絨毯が納品されました。

さあ！次は **The Big Orange. Los Angeles** です。L.A には 7 万人を超す Iranian-American が住み、別名 **Tehrangles** とも呼ばれるそう。中でも **Beverly Hills** では住人の 20% 以上を占めています。3 月 21 日イランの新年に合わせ沢山のいとこたちが住む当地を訪れました。街にはイスラム革命前のイランの国旗(太陽とライオン)がいたる所に立てられ、Shah の写真も飾られています。新年行事の中には家族揃ってアウトドアのピクニックを楽しむ日もあります。Saffron & rose water ice cream おいしそうですね。

ペルシャ語で放送するテレビ局はアメリカに 52 社以上ありますがそのうちのひとつ PARS TV にお母さんと一緒に出演して来ました。**Meybodi interview with Dalia & Pouri Anavian on Pars TV about Japan** というタイトルで、YouTube で観ることが出来ます。(ペルシャ語だからぜんぜん分かりませんが Dalia さんが日本語であけておめでとうございますと言っていました。)

Q & A

- イランでは今でも女性たち黒衣着用ですか？はい、そうです。黒衣の内側は、ドキッとするようなファッションかもしれません。
- 本当にアルコールはだめなのですか？法律上はだめです。でもホームメイドワイン(密造酒)はあります。
- どこで買うのですか？ロコミです。
- 飲酒を見つけた場合はどうなるのですか？鞭打ち 80 回の刑です。お金が解決します。
- どうしてそんなにホームパーティが好きなのでしょう？これが人生だからでは、でしょうか。Let's party! です。
- イラン女性のスポーツは？確かにベールを着けては泳げませんよね。People support, government NO. です。
- 大阪、New York、Teheran は？大阪人は不細工な街やけど人間が好きです。N.Y はもっと幅広く不思議なエネルギーを持っている。アメリカでは東日本の震災に関してアメリカ人からたくさんの心配の声をかけられました。

